

新型コロナウイルス感染症の感染防止について

ウイルスから身を守るためには、正しい知識と意識が大切です。

新型コロナウイルスは感染していても症状が出ない場合があります、知らないうちに感染を広めてしまうこともあります。

一人一人がしっかりと気を付け、感染予防行動をとるようにしましょう。

【家庭～学校】

1. 毎日の体調管理に努める

- 毎日、起床時と夕食前に時間を決めて体温測定を行い、健康チェック表に記入する。
発熱やその他の症状など(だるさ、咳、喉の痛み、鼻水、吐気、下痢など)いつもと違う症状はないか確認する。
- いつもと違う症状がみられる時は無理をして登校せず、自宅で休養する。
- 家族内に感染者および濃厚接触者がでた時は、学校に連絡する。
- 免疫力を高めるため、バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心掛ける。

2. 感染防止行動に努める

- 公共交通機関の中では会話を控え、飛沫感染の防止に努める。
- 公共交通機関を利用する場合は、必ずマスクを着用する。
降車後は速やかに手を洗う。
顔をできるだけ触らない。触った場合は顔を洗う。
- 下校の際は速やかに自宅に帰り、不要不急の外出は行わない。
- 帰宅後はまず手洗い(流水と石けんで30秒ほど丁寧に)を行い、できるだけすぐに着替える。
- 休日は、不要不急の外出を控える。
- 仲の良い友人同士の間での家庭間の行き来を控える。
- 家族ぐるみの交流による接触を控える。

【学校生活】

1. 各自で持参するもの

清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク(予備もあればよい)
マスクを置く際の清潔なビニールや布

2. 体調管理

- 家庭での体温測定を忘れて登校した生徒は、教室へ入る前に職員室前で体温測定をする。
- 健康チェック表は毎朝担任へ提出する。
- 体調不良を感じた時は、速やかに教員に申し出る。

3. 感染防止行動を正しくとる

① 基本的にマスクは常時着用し、飛沫感染の防止に努める。

ただし、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、十分な換気や距離を保ち、マスクを外すこともある。

- ② マスクを正しく取り扱い、手指にウイルスが付着するのを防ぐ。
- 昼食時などマスクを外す際は、マスク表面に指が触れてウイルス等が付着しないよう、ゴムひもをつまんで外す。
 - 外したマスクは内側に折りたたみ、清潔なビニール袋や布などに置き清潔に保つ。この時に、手拭きに使用しているハンカチは使用しない。
 - 使用したマスクを破棄する際も、マスク表面には触れないようにビニール袋に入れ、袋の口を縛って密閉してから捨てる。
- ③ 手洗いを徹底し、手指からの接触感染を防ぐ
- 登校時、昼食前、体育終了時、トイレ使用后、掃除の後など水と石鹸で 30 秒程度かけて丁寧に洗う
 - 個人の清潔なハンカチで手を拭く



(首相官邸 HP)



(厚生労働省 HP)

④ 咳エチケットを守り飛沫感染を防ぐ



(首相官邸 HP)

⑤ その他教室で気を付けこと

- 教室の廊下側と外側の両方を開放し、空気の流れをよくして換気する。エアコンを使用していても換気を行う。
- 休み時間は、近距離での会話や大声の発生をしない。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 昼食は対面での摂取をせず会話も控える。



(首相官邸 HP)